

感染状況・医療提供体制の分析(4月6日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細
➔



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (3月30日時点)	現在の数値 (4月6日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	3031人 (161.5人)	3507人 (186.8人)	➔	総括コメント レベル4. 感染が拡大しており特別な警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	223人 (7%)	276人 (8%)	➔	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	1546人	1867人	➔	新規陽性者は <u>人口10万人当たり187人</u> と増加。全ての年代で増加傾向。また、高齢者や若年者が集まる場所でのクラスターも継続的に発生。 更なる感染の拡大が懸念される。これまでの感染拡大では若年層中心の流行から高齢者へと波及していく傾向が見られており、感染リスクが高まる会食への注意、個人の感染対策の徹底を行い、重症化リスクの高い方(高齢者等)を守る必要がある。
		県南西部	1159人	1363人	➔	
		高梁・新見	27人	26人	➔	
		真庭	66人	17人	➔	
		津山・英田	226人	226人	➔	
市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	965人 (調査中を除く)	922人 (調査中を除く)	➔	
		割合 (③/①)	42.4% (調査中を除く)	40.5% (調査中を除く)	➔	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		101人 (18%)	76人 (14%)	➔	総括コメント レベル2. 体制逼迫の兆候があると思われる
	⑤宿泊療養者数		144人	171人	➔	医療提供体制ひっ迫の状態ではないが、新規感染者数増加に伴い、宿泊・自宅療養者数はやや増加。
	⑥自宅療養者数		2707人	3426人	➔	
	⑦重症者数		1人	2人	➔	